

名古屋大学理学部物理学教室
 京都: 加藤 正二 〒606 京都市左京区北白川追分町
 京都大学理学部宇宙物理学教室
 中国・四国: 三沢 邦彦 〒766 高松市幸町 1-1
 香川大学教育学部天文学教室
 九州: 上西 啓祐 〒860 熊本市黒髪 2-39-1
 熊本大学理学部物理学教室

◇講演申込者で財政的理由により出張旅費の補助を希望される方は、支部理事に御相談の上、3月19日までに「東京天文台内日本天文学会理事長」あてに申し込んで下さい。なお50年度会費まで納入済みの方で、原則として連名の場合でもスピーカーであること、正式の給与をうけていない人(例えば大学院生など)に限ります。
 ◇講演申込みのリマークとして次の各項を理事会において特に強調することになりましたので御留意下さい。

1. 講演は1人1回に限る。
2. スピーカーを発表者の筆頭に書くこと。
3. ビラを禁止し、スライドに限る。
4. 講演は完成度の高い研究とする。
5. 申込書についても注意事項を完全に守ること。

=====

掲 示 板

=====

三菱財団自然科学研究助成募集

上記について三菱財団より本会宛に募集要項が来ている。応募を希望される方は学会庶務理事に御連絡下さるか、個別に下記宛「三菱財団自然科学時成応募要項」を御請求下さい。

宛先 財団法人 三菱財団
 〒100 東京都千代田区丸の内 2-5-2
 三菱ビルヂング 15 階
 Tel. 03-214-5754

助成の金額は総額約1億1千万円、1件2千万円以内、研究期間は原則として1年、応募締切は昭和51年5月31日。助成金贈呈は10月8日。

この助成金の趣旨は、自然科学の基礎分野における重要かつ独創的な研究を助成して、わが国基礎科学部門の一層の向上、発展を期待することにあるとしています。本年度は九分野を重点的に助成の対象としています。その他の分野における研究も勿論選考の対象から除外するものではないとなっています。また助成金の使途は制限されておらず、設備費・消耗品費・旅費・謝金等いずれの項目についても申込むことができます。九つの重点対象分野のうち多少とも天文学に関連して来そうなものは(1)非線型現象の基礎的研究、(2)無定形物質系の基礎的研究、(3)極低温における物理現象とその応用に関する基礎的研究、(4)化学及び物性分野における新しい着想・新測定方法による研究であります。

◇ 3 月 の 天 文 暦 ◇

日 時	記 事
1 8	朔
4 13	月 最遠
5 20	啓 蟹 (太陽黄経 345°)
9 14	上 弦
16 10	海王星 留
12	望
17 4	月 最近
20 21	春 分 (太陽黄経 0°)
23 4	下 弦
28 3	土 星 留
31 2	朔
7	冥王星 衝
19	月 最遠

1975 年 12 月の太陽黒点 (g, f) (東京天文台)

1	0,	0	6	1,	23	11	0,	0	16	1,	7	21	0,	0	26	1,	2
2	1,	9	7	1,	16	12	0,	0	17	1,	5	22	0,	0	27	0,	0
3	3,	19	8	—,	—	13	0,	0	18	1,	2	23	0,	0	28	0,	0
4	1,	21	9	—,	—	14	0,	0	19	1,	3	24	1,	1	29	0,	0
5	—,	—	10	2,	4	15	1,	9	20	0,	0	25	2,	2	30	1,	1
(相対数月平均値: 8.1)															31	0,	0

昭和51年2月20日	発行人	〒181 東京都三鷹市東京天文台内	社団法人 日本天文学会
印刷発行	印刷所	〒112 東京都文京区水道2-7-5	啓文堂 松本印刷
定価 300 円	発行所	〒181 東京都三鷹市東京天文台内	社団法人 日本天文学会
		電話 武蔵野 31 局 (0422-31) 1359	振替口座東京 13595

3月の星座

野尻抱影

1. ふたご (GEMINI)

3月3日子午線経過とある。では、陸じく並んだ α 、 β は空の女夫離に見立ててもいい。だが、神話では α カストールは拳闘の名手、 β ポルックスは馬術の達人だ。これにこじつければ桃太郎と金太郎に見立てようか？すると男の節句の雛人形になるな……など、たわいもない空想に年を忘れてホクホクする。

しかし、われに返ると思いだすのはバイエルである。1603年 α 、 β に双子の神話名をつけたのは彼で、同時に光度順をも示したが、それ以来300年の間に β はじりじり増光して σ を抜いた。理科年表には現在、 β 1.2等、 α 1.6等とある。天文ロマンスの種は尽きない。

ところで今の天象では $\alpha\beta$ を東南へ延長すると土星がどんより輝いている。私は土星を見たとき思わずぎょとして終戦から30年がまさしく経過したことを実感した。が同時に終戦の秋、旧天長節の未明に魂をひしがれるような雄大なスペクタクルを、おとめ座とふたご座に目撃したことを思い出したのである。

それは1週間を隔てた2つの合で、初めのがふたご座に起った土星と火星の合、当日の合はおとめ座で木星と金星がみせたもので、山本一清博士が「今年における大空の祝祭」と予告された。これに教えられて、家近い焼野原で骨まで凍りそうな寒気に慄えながら観望した。

まず、おとめ座の木星と金星を観てから、すでに合を終わったふたご座に目を移したが、土星と火星とが α 、 β を加えて巨大なL字形を描き、かつ周囲の1,2等星も光を争っていた景観は、敗戦で虚脱状態になっていた心身には刺激が強烈に過ぎた。ただ茫然として、国破れて永しえなるものは天上の星のみと感じたのを覚えている。

さて、 α 、 β の和名を一言すると、外国でも2つの眼とみた名が多いが、通称フタツボシの他に、漁夫から出たカノメ、同ガニマナクが広く分布している。大ガニがもっくり突き出している双の眼玉で実感が強い。カレンメ(カレイの目)は汐干濁だろう。奇抜なのはネコノメで、金目銀目と2星の色まで見分けた名もある。

つぎに本欄の豆星図でも α 、 β から引く2列の線が目につく。今ごろ西の天頂から引いているのは大ダコのしだり尾のようだが、静岡地方ではこの2列を旧正月の門飾りとみてモンバシラとかカドグイとよんでいる。四国

・九州ではゾウニボシ・モチクイボシで、節分ごろ2星が引くこむと雑煮が食べられるからだという。農村の春待つ喜びが素朴に表われている。

終りに、海坊主は遠州灘、セントエルモの火は金華山沖といわれる。前者は講談でなじみだが、初めふたごの名から出た後者の放電現象に特殊の日本名があるか、また詳しい実見記録があれば伺いたい。

2. かに座 (CANCER)

子午線経過3月26日。豪雄ヘーラクレースがネメアの怪獅子を絞め殺したとき、殊勝にも助立ちに出て踏みつぶされたカニというが、微光星がばらばらしている暗い星座である。カニと名づけたのも暗い穴の奥にこもっているのに喩えたのだろうか、古い星図には目のない真黒なカニを描いたのがある。またザリガニそっくりの画もあり、敗戦の食糧難にバケツを下げて玉川べりを漁り歩いた当時を思い出す。

しかし、黄道第3座にあたるレッキとした星座で、ギリシア以来カルキノス(カニ)とよばれ、ラテンに入ってプライセーペ(まぐさ桶)とよばれた。誰れも知っている散開星団でカニの甲羅にあたり、まわりの細かい星がハサミや足にあたる。中で目につくのは、まぐさ桶を上下にはさむ4等と3等の星で、それぞれ「北のロバ」と「南のロバ」である。小望遠鏡で見とどけるには楽しい。

アラトスの天気占には、まぐさ桶が暗くてロバが二つとも明らかになれば雨が近い。北のロバが薄く、南のロバが明らかになれば南風が吹き、反対なれば北風が吹く—とある。

私がこの星団に初めて小望遠鏡を向けたのは、ガリレオの文からである。「まぐさ桶とよばれるネビュラは、ただ一つの星にはあらず、40余の星の集まりなり。われはロバの他に30の星を見たり」とある。ネビュラの語意が現在と違うのも興が深い。

かに座は十二宮では巨蟹宮、二十八宿では鬼宿にあたる。鬼は亡魂で、青白くぼろっと光っているのを人玉のブルと見たものらしい。中央の四辺形が「四星冊方にして木櫃に似たり」で、棺である。積尸気ともいい、焼酎火とウスドロの鳴物を思わせる。日本にはこれという方言もなく、反ってしし座のカノメにさらわれている。

インドでは釈迦聖誕の日に月に鬼宿に宿ったので大吉の星宿とし、東京でも毎年その日に花祭を行っている。

[1月のおうし座に東・西の誤記あり、お許し下さい]

